

あとがき

「総合車両製作所技報」第2号をお届けいたします。

当社は1958年に日本初のステンレス車両、1962年に日本初のオールステンレス車両を開発し、以来ステンレス鋼製車両の開発・新造を行ってまいりました。そして、今後さらに大きな飛躍を遂げるため、新しいコンセプトに基づく「sustina」というブランドのステンレス車両の開発を進め、国内はもとより海外の鉄道事業者への提供を目指してまいります。

その新しいコンセプトによるステンレス車両、「sustina」の第1号車両が、東急電鉄殿向け5050系の1両として製作され、2013年5月から営業運転が開始されております。本号はその東急電鉄殿向け5576号車のご紹介と、技術開発に係わるご報告をさせていただく特集号として、7編の紹介と技術報告を中心に編集いたしました。

また、従来から取り組んでおります接合技術の開発に係わる論文や、「国際溶接学会IIWにおけるFSWのISO国際標準化」の解説など、当社が取り組んでまいりました接合技術に関する活動についてご報告をいたします。

さらに、鉄道事業者であるJR東日本のグループ会社として、メーカーとしての目だけではない安全文化への取り組みや、Alstom社との協業を目指した「Citadis」の国内導入へ向けての動きなど、鉄道事業を中心にした事業グループの強みを生かした取り組みについてもご紹介しております。

そのほか新造車両や、改造によって新しい用途を与えられた車両のご紹介、線路関係やコンテナの新製品の開発など7編のご紹介を含め、全部で23編の構成となっております。ぜひご覧いただき、ご意見、ご質問等がございましたら、編集担当者までお問い合わせいただければと存じます。

これからも、さらに技術の研鑽と開発に取り組んでいく所存でございます。より一層のご指導、ご助言をいただきますようお願い申し上げます。

取締役 生産本部 技術部長 杉山 隆